

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0112

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	文教施設に関する整備指針等の策定		担当部局	大臣官房文教施設企画・防災部	作成責任者		
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	施設企画課 施設企画課長 金光 謙一郎		
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育基本法 第16条第2項		関係する計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)			
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり		主要経費	教育振興助成費			
施策	2-5 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進						
政策体系・評価書URL	・事前分析表 https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kaikesou02-000023353-0100.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが学校で生き生きと学習や生活を行うことができるよう、安全で豊かな学校施設環境を確保し、教育内容・方法の多様化に対応した施設機能を備える学校施設の整備計画の検討に資する指針や事例を提供する。 ・地域の拠点である文教施設において、整備・運営に民間の資金や創意工夫を活用することにより、効率的かつ効果的で良好な公共サービスを実現するため、多様なPPP/PFIを推進する。 						
現状・課題 (5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の老朽化がピークを迎える中、教育環境向上と老朽化対策の一体的整備を推進する必要がある。 ・文教施設においても、急速な老朽化の進展に伴い、今後の維持管理費や更新費等が増大することが見込まれることや、人口減少等に伴い、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることから、整備・運営に民間による資金や創意工夫の活用を推進する必要がある。 						
事業概要 (5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」を踏まえ、「学校施設整備指針」を改訂する。 ・「2050年カーボンニュートラルの実現に資する学校施設のZEB化の推進について」をとりまとめる。 ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備モデルを構築するため、学校設置者による基本計画等の策定、計画・設計プロセスの支援を行う委託事業を実施する。 ・学校施設のバリアフリー化を推進するため、国公立の小中学校及び特別支援学校の施設を対象とするバリアフリー化の実態について調査を実施する。 ・地方公共団体等において多様なPPP/PFIが導入されることを促進するため、コンセッション事業を含めた官民連携手法活用の検討を支援する委託事業を実施する。 ・学校施設整備を着実に推進するため、様々な課題に的確に対応していくため、様々な機能を有するプラットフォームの構築・充実を実施する。 						
事業概要URL	学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 https://www.mext.go.jp/b_menu/ehingi/chousa/ehisetu/066/index.html 、新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業 https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/seibi/1372577_00001.htm 、文教施設における多様なPPP/PFIの先導的開発事業 https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/ppp/mext_02146.html 、CO-SHA Platform(コーンヤ・プラットフォーム)学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム https://www.mext.go.jp/co-sha/index.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	2	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	68.9	84.7	83.3	79	76
		執行額(G)	40.5	56.1	74.1	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	59%	66%	89%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	59%	66%	91%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	初等中等教育振興費	-	-				
(目)	初等中等教育振興事業委託費	67	62				
(目)	庁費	3	4				
(目)	職員旅費	3	4				
(目)	委員等旅費	3	3				
(目)	諸謝金	2	2				
(目)	教職員研修費	1	1				
	その他	-	-				
	計(A)	79	76				

活動内容① (アクティビティ)		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備の取組に資するよう、学校施設の在り方に関する調査研究を行い、学校施設整備指針を策定するとともに、好事例の横展開を行う。 ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備モデルを構築するため、委託事業で学校設置者による施設整備に係る基本計画等の策定、計画・設計プロセスの支援を実施する。 ・学校施設のバリアフリー化を推進するため、公立小中学校等施設のバリアフリー化の実態について調査を実施し、その調査結果を通知するとともに、補助制度や事例を紹介し、さらなる取組を促す。 								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知等を行い、全国の学校設置者等に情報提供・普及啓発を図る。	提言、手引き等の作成数(学校施設の在り方に係る提言、手引き等)	活動実績	回	3	6	5	-	-
				当初見込み	回	5	3	5	3	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知が、全国の学校設置者等における今後の施設整備の参考になる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、学校設置者が、所管する学校施設のバリアフリー化に関する計画や方針等を策定する。	学校設置者におけるバリアフリー化に関する整備計画の策定状況	成果実績	%	14.9	-	25	-	
				目標値	%	100	-	100	100	
				達成度	%	14.9	-	25	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		整備計画を策定した学校設置者は、その計画に基づき学校施設のバリアフリー化に取り組むようになる。整備計画を策定していない学校設置者は、関係部局と連携を図りながら策定することで、学校施設におけるバリアフリー化に計画的に取り組むようになる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、公立小中学校等におけるバリアフリー化を進める。	「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査」における、校舎のバリアフリートイレの整備割合	成果実績	%	65.2	-	70.4	-	
				目標値	%	95	-	93	93	
				達成度	%	68.6	-	75.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備の取組に資するよう、学校施設の在り方に関する調査研究を行い、学校施設整備指針を策定するとともに、好事例の横展開を行う。 ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備モデルを構築するため、委託事業で学校設置者による施設整備に係る基本計画等の策定、計画・設計プロセスの支援を実施する。 ・学校施設のバリアフリー化を推進するため、公立小中学校等施設のバリアフリー化の実態について調査を実施し、その調査結果を通知するとともに、補助制度や事例を紹介し、さらなる取組を促す。 								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知等を行い、全国の学校設置者等に情報提供・普及啓発を図る。	提言、手引き等の作成数(学校施設の在り方に係る提言、手引き等)	活動実績	回	3	6	5	-	-
				当初見込み	回	5	3	5	3	-
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知が、全国の学校設置者等における今後の施設整備の参考になる。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、学校設置者が、所管する学校施設のバリアフリー化に関する計画や方針等を策定する。	学校設置者におけるバリアフリー化に関する整備計画の策定状況	成果実績	%	14.9	-	25	-	
				目標値	%	100	-	100	100	
				達成度	%	14.9	-	25	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		整備計画を策定した学校設置者は、その計画に基づき学校施設のバリアフリー化に取り組むようになる。整備計画を策定していない学校設置者は、関係部局と連携を図りながら策定することで、学校施設におけるバリアフリー化に計画的に取り組むようになる。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、公立小中学校等におけるバリアフリー化を進める	「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査」における、校舎のスロープ等による段差解消(門から建物の前まで)の整備割合	成果実績	%	78.5	-	82.2	-	
				目標値	%	100	-	100	100	
				達成度	%	78.5	-	82.2	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備の取組に資するよう、学校施設の在り方に関する調査研究を行い、学校施設整備指針を策定するとともに、好事例の横展開を行う。 ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備モデルを構築するため、委託事業で学校設置者による施設整備に係る基本計画等の策定、計画・設計プロセスの支援を実施する。 ・学校施設のバリアフリー化を推進するため、公立小中学校等施設のバリアフリー化の実態について調査を実施し、その調査結果を通知するとともに、補助制度や事例を紹介し、さらなる取組を促す。 								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知等を行い、全国の学校設置者等に情報提供・普及啓発を図る。	提言、手引き等の作成数(学校施設の在り方に係る提言、手引き等)	活動実績	回	3	6	5	-	-
				当初見込み	回	5	3	5	3	-
↓										
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知が、全国の学校設置者等における今後の施設整備の参考になる。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、学校設置者が、所管する学校施設のバリアフリー化に関する計画や方針等を策定する。	学校設置者におけるバリアフリー化に関する整備計画の策定状況	成果実績	%	14.9	-	25	-	
				目標値	%	100	-	100	100	
				達成度	%	14.9	-	25	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
↓										
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		整備計画を策定した学校設置者は、その計画に基づき学校施設のバリアフリー化に取り組むようになる。整備計画を策定していない学校設置者は、関係部局と連携を図りながら策定することで、学校施設におけるバリアフリー化に計画的に取り組むようになる。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、公立小中学校等におけるバリアフリー化を進める	「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査」における、校舎のスロープ等による段差解消(昇降口・玄関等から教室等まで)の整備割合	成果実績	%	57.3	-	61.1	-	
				目標値	%	100	-	100	100	
				達成度	%	57.3	-	61.1	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容④ (アクティビティ)		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備の取組に資するよう、学校施設の在り方に関する調査研究を行い、学校施設整備指針を策定するとともに、好事例の横展開を行う。 ・新しい時代の学びに対応した学校施設の整備モデルを構築するため、委託事業で学校設置者による施設整備に係る基本計画等の策定、計画・設計プロセスの支援を実施する。 ・学校施設のバリアフリー化を推進するため、公立小中学校等施設のバリアフリー化の実態について調査を実施し、その調査結果を通知するとともに、補助制度や事例を紹介し、さらなる取組を促す。 								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知等を行い、全国の学校設置者等に情報提供・普及啓発を図る。	提言、手引き等の作成数(学校施設の在り方に係る提言、手引き等)	活動実績	回	3	6	5	-	-
				当初見込み	回	5	3	5	3	-
↓										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知が、全国の学校設置者等における今後の施設整備の参考になる。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、学校設置者が、所管する学校施設のバリアフリー化に関する計画や方針等を策定する。	学校設置者におけるバリアフリー化に関する整備計画の策定状況	成果実績	%	14.9	-	25	-	
				目標値	%	100	-	100	100	
				達成度	%	14.9	-	25	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
↓										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		整備計画を策定した学校設置者は、その計画に基づき学校施設のバリアフリー化に取り組むようになる。整備計画を策定していない学校設置者は、関係部局と連携を図りながら策定することで、学校施設におけるバリアフリー化に計画的に取り組むようになる。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		誰もが支障なく学校生活を送ることが出来る環境を整備するため、公立小中学校等におけるバリアフリー化を進める	「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査」における、エレベーターの整備割合	成果実績	%	27.1	-	29	-	
				目標値	%	40	-	41	41	
				達成度	%	67.8	-	70.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校施設のバリアフリー化に関する実態調査(令和4年9月1日時点)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑤ (アクティビティ)		文教施設におけるPPP/PFI事業の具体的な案件形成を図るため、地方自治体等を対象とした委託事業を実施し、文教施設におけるコンセッション事業を含めた多様なPPP/PFIについて、先導的な取組への支援と成果の横展開を行うとともに、地方自治体等における事業の発案(事業手法の検討等)や、具体化の検討(事業スキームの開発等)等の取組を支援する。これらの成果について、好事例の横展開や関連事業の成果物の周知、支援施策の説明等を行い、全国の地方公共団体等に情報提供・普及啓発を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		好事例の横展開や関連事業の成果物の周知、支援施策の説明等を行い、全国の地方公共団体等に情報提供・普及啓発を図る。	セミナー(説明会、勉強会等)開催数	活動実績	回	-	-	-		
				当初見込み	回	-	-	-	5	
↓										
成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		コンセッション事業を含めた官民連携手法活用の検討を支援する委託事業等による成果物や好事例の横展開、支援施策の説明等が、全国の地方公共団体等における今後のPPP/PFI事業の導入を検討する契機となる。さらに、本委託事業におけるセミナー(説明会、勉強会等)の中で行う質疑対応や個別相談が、事業の具体化に対して支障となっていた課題の解決、案件形成の推進に繋がる。								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
		PPP/PFI推進アクションプラン重点分野実行計画に定めた、重点分野(スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設)における令和5年度に少なくとも具体化すべき事業件数目標を達成する。	スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設においてコンセッション事業の活用に向けた具体化事業件数(令和4年度からの累積)	成果実績	件	-	-	2	-	
				目標値	件	-	-	-	4	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		PPP/PFI推進アクションプラン(令和4年改定版)のフォローアップ(令和5年3月31日時点)								
↓										
成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		PPP/PFI推進アクションプラン重点分野実行計画に定めた、重点分野(スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設)における少なくとも具体化すべき事業件数について、令和5年度における成果目標が達成されれば、今後の案件形成の加速が期待でき、アクションプラン重点実行期間である令和4年度から8年度までの5年間における成果目標の達成に寄与することができる。								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度	
		PPP/PFI推進アクションプラン(令和4年改定版)に定めた、重点分野(スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設)における5年間(令和4年度～8年度)で少なくとも具体化すべき事業件数目標を達成する	スポーツ施設、文化・社会教育施設、大学施設においてコンセッション事業の活用に向けた具体化事業件数(令和4年度からの累積)	成果実績	件	-	-	2	-	
				目標値	件	-	-	-	25	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		PPP/PFI推進アクションプラン(令和4年改定版)のフォローアップ(令和5年3月31日時点)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められ ている閣議決定 等		アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								
		チェック <input checked="" type="checkbox"/>								
		名称	-							
	URL	-								
	該当箇所	-								

事業に関連する KPIが定められ ている閣議決定 等		名称	-						
		URL	-						
		該当箇所	-						

文部科学省
74百万円

諸謝金 0.7 百万円
職員旅費 1.7 百万円
委員等旅費 0.1 百万円
庁費 2.8 百万円
を含む

【随意契約(企画競争)】

A. 地方自治体
(全2件)
12百万円

新しい時代の学びに対応した施設環境を発案・具体化するような施設整備の基本計画を策定することに対して、委託費について支援を行う。

【随意契約(その他)】

B. 株式会社
(全2件)
9百万円

【一般競争契約(総合評価)】

C. 株式会社 ロフトワーク
28百万円

新しい時代の学びを実現する学校施設整備を着実に推進するため、様々な機能を有するプラットフォームの構築・充実を行う。

【随意契約(企画競争)】

D. 地方自治体等
(全3件)
29百万円

地方公共団体が先導的なPPP/PFIを活用した事業の具体的な案件形成を図ることに対して、委託費について支援を実施する。

【随意契約(その他)】

E. 株式会社等
(全4件)
28百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	再委託費	事業検討等支援調査業務(株式会社studio-L)	6	事業費	交通費、宿泊費、間接経費	4
	事業費	諸謝金、旅費、借損料、消耗品費、図書購入費、会議費、通信運搬費、雑役務費	1	賃金	直接人件費	2
	計		7	計		6
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	新時代の学びを実現する学校施設整備・活用推進プラットフォーム構築・運用業務(株式会社ロフトワーク)	28	再委託費	事業検討等支援調査業務(Amame Associate Japan 株式会社)	9.7
				事業費	諸謝金、旅費、消耗品費、会議費	0.4
	計		28	計		10.1
E.			F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事業費	間接原価、一般管理費	5				
賃金	人件費	4				
消費税	消費税及び地方税相当額	1				
計		10	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	北海道中頓別町	5000020015130	新時代の学びに対応した施設環境を提案・具体化するような施設整備の基本計画を策定する。	7	随意契約(企画競争)	6	96%	
2	和歌山県串本町	9000020304280	新時代の学びに対応した施設環境を提案・具体化するような施設整備の基本計画を策定する。	5	随意契約(企画競争)	6	77%	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社studio-L	1120001117045	専門家による事業スキーム等の検討・提案・技術的補助を実施する。	6	随意契約(その他)	-	-	
2	株式会社教育環境研究所	3013301029134	専門家による事業スキーム等の検討・提案・技術的補助を実施する。	3	随意契約(その他)	-	-	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ロフトワーク	9011001042749	新しい時代の学びを実現する学校施設整備を着実に推進するため、様々な機能を有するプラットフォームの構築・充実を行う。	28	一般競争契約(総合評価)	1	100%	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	矢巾町	1000020033227	当該事業を検討する地方公共団体へ先導的なPPP/PFIを活用した事業の具体的な案件形成を図ることに對して、委託費について支援を実施。	10	随意契約(企画競争)	3	-	※落札率は、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表
2	地方独立行政法人大阪市博物館機構	2120005020789	当該事業を検討する地方公共団体へ先導的なPPP/PFIを活用した事業の具体的な案件形成を図ることに對して、委託費について支援を実施。	10	随意契約(企画競争)	3	-	※落札率は、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表
3	紫波町	1000020033219	当該事業を検討する地方公共団体へ先導的なPPP/PFIを活用した事業の具体的な案件形成を図ることに對して、委託費について支援を実施。	10	随意契約(企画競争)	3	-	※落札率は、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	Amame Associate Japan 株式会社	5140001119127	事業検討等支援調査業務	10	随意契約(その他)	-	-	
2	株式会社オガール	2400001009287	事業検討等支援調査業務	9	随意契約(その他)	-	-	
3	株式会社日本総合研究所	4010701026082	事業検討等支援調査業務	7	随意契約(その他)	-	-	
4	有限会社デコラティブモード ナンバースリー	1120002044750	事業検討等支援調査業務	2	随意契約(その他)	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック

活動内容⑥ (アクティビティ)	新しい時代の学びを実現する学校施設整備を着実に推進するためには、既存施設の改修ノウハウがない、専門の職員が不足しているため専門的・技術的なアドバイスがほしいといった様々な課題があることから、こうした課題に的確に対応していくため、様々な機能を有するプラットフォームの構築・充実を図り、学校設置者など関係者に対して情報発信を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	新しい時代の学びを実現する学校施設の実績収集及び展開	新しい時代の学びを実現する学校施設の展開発信事例数	活動実績	件			8		
			当初見込み	件			10	20	
↓	成果目標⑥-1の設定理由 (アウトプットからのつながり) 令和4年に「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(最終報告)が取りまとめられたが、そもそもどのような学校施設が求められているかなど、普及啓発活動が必要であり、報告書やその中身を体現したプラットフォームの広い周知が必要となる。周知の後に、各学校設置者などが具体的にどのような学校施設を整備・活用するかイメージを持った後に、学校設置者ごとに置かれている状況に応じた個別具体的な事例に合ったイベントや相談に参加することで、地域の実情などに応じた学校施設が充実される。								
成果目標及び成果実績 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	新しい時代の学びを実現する学校施設の充実に向けた広報成果	CO-SHAプラットフォームで主催したイベントの参加者、相談件数の合計	成果実績	人・件			280		
			目標値	人・件			124	126	
			達成度	%	-	-	225.8	0	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	HPに記載した、もしくは報告書に記載したCO-SHAプラットフォームで主催したイベントの参加者、相談件数の実績値の合計。 (目標値は、イベント1件当たり30人参加として算出)								
↓	成果目標⑥-2の設定理由 (短期アウトカムからのつながり) イベントに参加しその場で得た知識や情報、ネットワークの満足度が高くなることで、イベントの参加者がかかわっている学校施設に対し新しい時代の学びの学校づくりの取組を反映されることが重要であると考え、イベントに対する満足度をアウトカムと設定した。								
成果目標及び成果実績 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
	新しい時代の学びを実現する学校施設の充実に向けた情報共有	主催イベントで実施するアンケートの満足度	成果実績	%			89		
			目標値	%			100	100	
			達成度	%	-	-	88.8	0	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	CO-SHAプラットフォームが主催するイベントの参加者向けアンケートのうち、満足した、やや満足したといった肯定的な意見の割合を平均したもの								
アウトカム設定についての説明	アクティビティ⑥について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ⑥についてアウトカムが複数設定できない理由								
アウトカム設定についての説明	-								
	-								